

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実 施 事 業	事務事業名 札幌のぼりべつ会交流事業
----------------------	---------------------------

区分	番号	名 称
章	6	担いあうまちづくり
節	2	交流によるまちづくりの推進
施策	1	国内における交流の場と機会の拡大
小分類	1	国内の様々な地域との交流の推進
主要な施策	3	札幌圏・首都圏における交流拠点の整備
事務事業番号	003	事務事業コード 62113003 事業開始年度 平成 8 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	予算書上の事務事業名
------	------------

部 名	総務部	グループ名	政策推進室企画 G
-----	-----	-------	-----------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc;">(事務事業の実施目的を具体的に記載してください)</p> <p>札幌のぼりべつ会と市との相互の情報交換や交流を図るとともに、会の協力による情報発信等を通じ、市政の発展に寄与することを目的とする。</p>
手段 (事業の内容・活動)	<p style="background-color: #ffffcc;">(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください)</p> <p>札幌圏に居住し、登別にゆかりのある個人(法人)により組織される「札幌のぼりべつ会」と市との連絡調整を行うとともに、交流プラザや総会の場において、市の情報を発信し、市政への協力をいただくほか、相互の情報交換や親睦、交流を図っている。</p> <p>(平成 2 2 年度の札幌のぼりべつ会の主な活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員会 平成 2 2 年 5 月 1 0 日(月) ・交流プラザ 平成 2 2 年 8 月 2 7 日(金) ・親睦事業 平成 2 2 年 8 月 2 8 日(土) ・役員会 平成 2 2 年 1 0 月 2 8 日(木) ・総会、報告会 平成 2 2 年 1 1 月 2 6 日(金) ・交流懇親会 平成 2 2 年 1 1 月 2 6 日(金)
成果	<p style="background-color: #ffffcc;">(事務事業の実施成果を具体的に記載してください)</p> <p>各種事業を通じた本会と市との相互の情報交換の場において、市政に対する意見や提言をもらうことにより、登別の地域の振興が図られる。 また、登別をふるさとに持つ会員構成となっており、ふるさと納税や登別ブランド推奨品の購入などの協力が得られている。</p>
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)</p> <p>札幌のぼりべつ会会則</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実 績	23年度 目 標	24年度 目 標	25年度 目 標	26年度 目 標
成果 指標	総会・交流会・交流プラザ等札幌のぼりべつ会が開催する行事の参加者数	人	目標値	70	70	70	70	70
			実績値	85	/	/	/	/
			目標値					
			実績値		/	/	/	/

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円						0
合 計			0	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	617	634			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		617	634			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 本会の各種事業の実施により、登別の地域振興が図られることから、今後も各種情報提供や交流に係る連絡調整等を市が行うことは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 会からの提言により事業展開が図られている。また、登別をふるさとに持つ会員構成となっており、ふるさと納税などの協力が得られている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 札幌のぼりべつ会の活性化に向けた取り組みに関する検討や、登別の経済関係者との交流などの事業を進めることで、登別の発展に寄与することができる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 予算の計上はなく、人工についても、必要最低限のものとなっている。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	札幌のぼりべつ会は、会の活性化、地元登別に対する地域貢献策を検討するとともに、登別のまちづくり団体や観光事業者などと意見交換を行う交流プラザを開催するなど、登別市の地域振興に寄与しているため、引き続き継続する必要がある。
-----------	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）